

農業振興地域整備計画の変更にかかる相談整理資料

1 相談日 年 月 日 () 相談確認番号

2 相談内容 編入 ・ 除外 ・ 用途変更 ・ その他 ()
(該当するところに「〇」をしてください。)

3 相談者

住 所		代理人 住 所	
氏 名		代理人 氏 名	
電話番号		代理人 連絡先	

4 対象となる土地の状況

土地の所在・地番	面積 (m ²)	登記地目	現況地目	地権者

5 農用地利用計画の目的

--

6 農用地利用計画の変更が必要な理由 (具体的な内容を記入してください。)

--

7 変更の予定時期

--

8 変更する土地を選定した理由

--

9 添付する書類、図面、参考資料等

- ・ 土地の位置図 (1/10,000、および1/2,500程度の図面)
- ・ 土地の利用計画図 (別紙)
- ・ 土地の現況写真

【農振除外に係る場合、農振除外の6要件について記載してください。】

1 0 農用地区域以外に、代替すべき土地がない理由（1号要件）

①対象土地以外で、付近の農用地以外で代替すべき土地の状況

土地の所在・地番	所有者	この土地では、目的が達せられない理由

※自己所有または、他人の所有する自地で代替できないか検討してください。

②除外後ただちに利用する必要がある理由（緊急性）

1 1 地域計画の達成に支障はないか（2号要件）

1 2 農用地の集団化、効率化に支障はないか（3号要件）

1 3 効率的、安定的な農業経営を営む者の農用地集積に支障はないか（4号要件）

1 4 土地改良施設に支障はないか（5号要件）

1 5 土地基盤整備事業（ほ場整備、水路改修等）が事業完了から8年が経過しているか（6号要件）

・土地基盤整備事業の実施 : (該当あり ・ 該当なし) (_____ 年経過)
 (地区名: _____) (事業名: _____)
 (工事完了日または公告日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日)

1 6 農業にかかる補助金等の制度を活用しているかどうかの確認

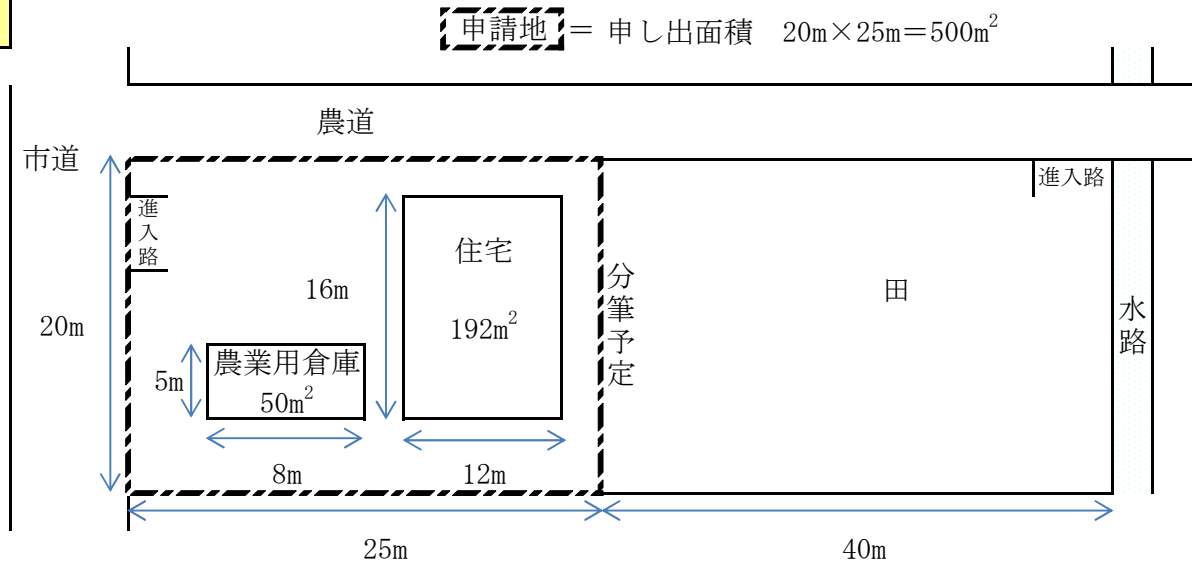
・世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 : (対象地区 ・ 対象地区外)
 ・中山間地域等直接支払交付金 : (対象地区 ・ 対象地区外)
 ・農地中間管理機構の機構集積協力金 : (対象地区 ・ 対象地区外)
 ・その他 (_____) : (対象地区 ・ 対象地区外)

土地の利用計画図

対象となる 土地の住所	申請者		方位
	所有者		

Blank area for drawing the land use plan.

記入例



(注意事項)

- ・ 建物等の名称を記入し、土地の縦、横の長さ、建物の縦、横の長さを記入してください。
- ・ 土地の一部を利用する場合についても、土地全体を記入し、利用箇所を明示してください。
- ・ 書ききれない場合は、別紙を添付してください。

農業振興地域整備計画の変更にかかる相談整理資料

1 相談日 令和 〇 年 〇 月 〇 日 (火) 相談確認番号

2 相談内容 編入 ・ 除外 ・ 用途変更 ・ その他 (該当するところに「〇」をしてください。)

3 相談者
Table with 4 columns: 住所, 氏名, 電話番号, 代理人氏名. Includes callout: その土地を必要とする方を、相談者として、記入してください。

4 対象となる土地の状況
Table with 5 columns: 土地の所在・地番, 面積 (m²), 登記地目, 現況地目, 地権者. Includes callout: 左記の相談者と違う人の場合は、記入してください。

5 農用地利用計画の目的
農家住宅の建築
Includes callout: 目的を簡潔に、記入してください。

6 農用地利用計画の変更が必要な理由 (具体的な内容を記入してください。)
私は、現在、とある市で妻と子ども3人で借家に暮らしていますが、両親が高齢で農業を続けていくことが困難となり、また、今後、両親の介護が必要となることから、米原市へと転居を考えています。
しかし、現在、両親の住む実家は狭く、家族7人が一緒に暮らすことが難しい状況です。また、両親の介護や、跡を継いで農業を続けていくためには、実家付近に住居を建築することが最善と考え、農地以外の住宅が建築できるところを検討いたしました。しかしながら、付近の土地はすべて断られたため、やむを得ず農地で検討したところ、当該申請地を譲っていただけることとなったため、今回申請いたします。

7 変更の予定時期
許可を頂いたら、速やかに関係手続を開始します。(年内の入居を希望しています)

8 変更する土地を選定した理由
両親の住む実家にも、所有する農地にも近く、必要な広さが確保できる土地であるため、この土地にしました。

- 9 添付する書類、図面、参考資料等
・ 土地の位置図 (1/10,000、および1/2,500程度の図面)
・ 土地の利用計画図 (別紙)
・ 土地の現況写真

【農振除外に係る場合、農振除外の6要件について記載してください。】

付近の白地で、検討できそうなところを、5か所程度選んで記入してください。
なぜ、無理なのかを、わかりやすく記載してください。

1.0 農用地区域以外

①対象土地以外で、付近の農用地以外に土地の状況

土地の所在・地番	所有者	土地の状況
米原市春照〇〇番〇	米原 E蔵	将来、自分の子どもの住宅として予定しているため、売ることはできないとのことです。
米原市春照〇〇番	米原 F雄	将来、姉の子どもの住宅として予定しているため、売ることはできないとのことです。
米原市春照〇〇番〇	米原 G子	現在の住宅が老朽化してきたので、この土地に新しく新居を建築する予定のため、売ることはできないとのことです。
米原市春照〇〇番地〇	米原 H香	自宅から近く、今後も畑として利用したいと考えているため、売ることはできないとのことです。
米原市春照〇〇番	米原 J男	農業用倉庫の建築を予定しているため、売ることはできないとのことです。

※自己所有または、他人の所有する白地で代替えできないか検討してください。

②除外後ただちに利用する必要がある理由（緊急性）

緊急性のわかる理由を記入してください。

両親が高齢で農業を続けられなくなったことから、実家近くに転居して農業を行う必要があるため、早急に住居が必要となります。

1.1 地域計画の達成に支障はないか（2号要件）

理由を簡潔に、記入してください。

当該用地は、地域計画の区域内の農地に含まれるものではありません。また、この土地の変更を行うことにより、農産物の生産振興、農地の集積・集約の影響はありません。

1.2 農用地の集団化、効率化に支障はないか（3号要件）

理由を簡潔に、記入してください。

当該用地は、住宅地の中にあり集団的な農地に含まれるものではありません。また、この土地の変更を行うことによる周辺のうちへの影響はありません。

1.3 効率的、安定的な農業経営を営む者の農用地集積に支障はないか（4号要件）

当該用地は、個人で営農しており、利用権も設定しておらず、他の農業者の支障となることは、ありません。

理由を簡潔に、記入してください。

1.4 土地改良施設に支障はないか（5号要件）

隣地農地の周辺は、擁壁にて区分し、隣接農地や用水路に土砂等の流出による影響がないように施工し、生活雑排水は、公共下水道に接続し、農地に影響が出ないよう留意いたします。

理由を簡潔に、記入してください。

1.5 土地基盤整備事業（ほ場整備、水路改修等）が事業完了から8年が経過しているか（6号要件）

・土地基盤整備事業の実施 : (該当あり ・ 該当なし) (18 年経過)
 (地区名: 伊吹山麓春照地区) (事業名: 県営春照北ほ場整備)
 (工事完了日または公告日 : S60 年 3 月 31 日)

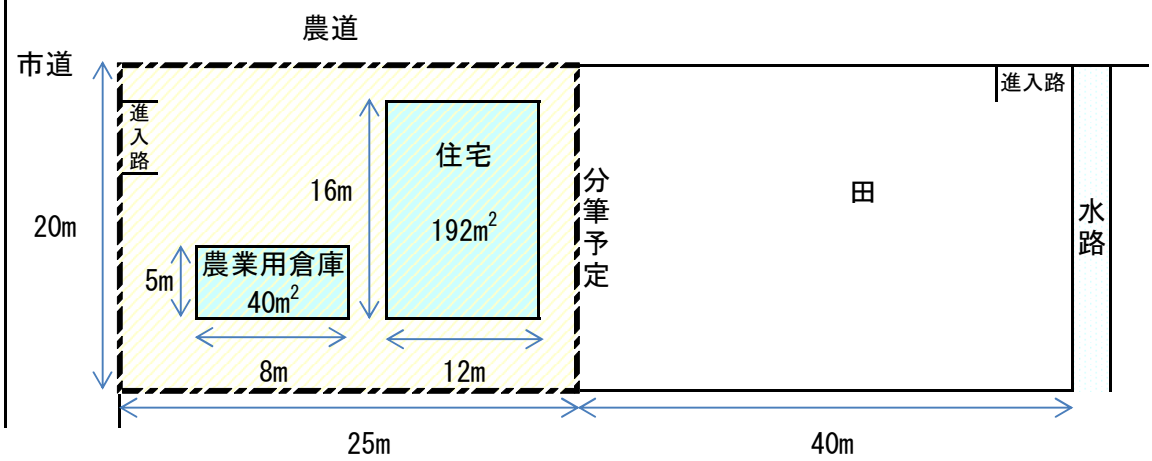
1.6 農業にかかる補助金等の制度を活用しているかどうかの確認

・世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 : (対象地区 ・ 対象地区外)
 ・中山間地域等直接支払交付金 : (対象地区 ・ 対象地区外)
 ・農地中間管理機構の機構集積協力金 : (対象地区 ・ 対象地区外)
 ・その他 () : (対象地区 ・ 対象地区外)

対象となる 土地の住所	米原市春照〇〇番〇	申請者	米原 A夫	方位
	米原市春照〇〇番	所有者	米原 C美・米原 D子	

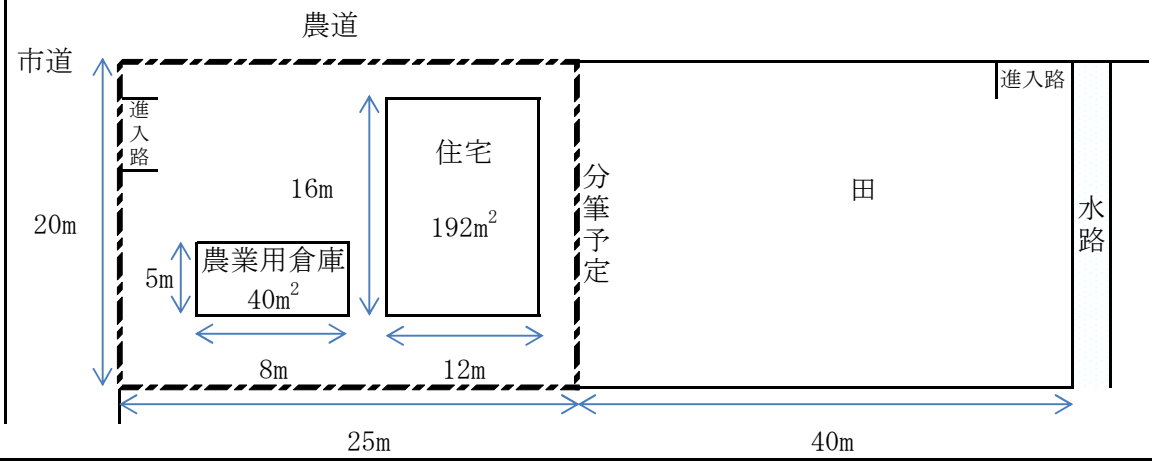
記入例

申請地 = 申し出面積 20m × 25m = 500m²



記入例

申請地 = 申し出面積 20m × 25m = 500m²



(注意事項)

- ・ 建物等の名称を記入し、土地の縦、横の長さ、建物の縦、横の長さを記入してください。
- ・ 土地の一部を利用する場合についても、土地全体を記入し、利用箇所を明示してください。
- ・ 書ききれない場合は、別紙を添付してください。